

長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART



人と人の「つながり」を大切に。

長野市災害ボランティア委員会

長野市災害ボランティア委員会は、東日本大震災の際に岩手県大槌町の支援活動をしていた「(旧)長野市災害ボランティア委員会」を母体として、長野市ボランティア連絡協議会、ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク、ながの災害・防災ネットワークみらい、NPO法人長野県NPOセンター、Handred Hands、その他個人会員により構成されています。令和元年東日本台風では、発災直後から会員同士がSNS上で連絡を取り合うと同時に、活動拠点である長野市ふれあい福祉センターで每晚打ち合わせを行い、情報交換と活動内容を協議しました。「この委員会の組織の強みは、メンバーにいろんな人がいて、それぞれのネットワークを持っていることです。皆が毎日それぞれの情報を持ってきて話し合うことで、幅広い活動につながりました」と話すのは、委員のひとり阿部今日子さん。例えば、発災直後、「災害ボランティアの効果的な活動のためには活動前のオリエンテーションが必要」との意見が出て、長野市社会福祉協議会と連携し、北部災害ボランティアセンターでのオリエンテーションを実施することに。また、被災者への物資支援では、「スマートサプライ」の仕組みを活用。各委員が現場のニーズを的確にキャッチし、必要な物資が適正量供給できるように支援しました。被災地での各種支援と並行して行ったのが、オリジナルグッズ販売による募金活動。東日本大震災の支援活動で培ったネットワークとノウ

ハウにより、「ながの龍神Tシャツプロジェクト」を立ち上げ、インターネットや各地のイベントで販売。売上げの一部を長野市教育委員会を通じて長野市内の小中学校に寄付しました。

さらに、西日本豪雨災害被災地支援で繋がった倉敷市の珈琲店の珈琲を長野で販売する「アルクマ復興珈琲プロジェクト」を展開。両被災地がひとつになって復興を歩む取り組みは、多数の人々の共感を呼び、活動資金調達にもつながりました。「やはり、ボランティア活動には人と人のつながりが一番大事だと感じます」と活動を振り返った阿部さん。「被災直後は、市内外の各ボランティア組織間での相互理解不足により、思うように連携が取れないジレンマがあった」との反省に立ち、2020年7月と12月には、市内の各団体に呼びかけ、他団体との共催で交流会を開くなど、相互の関係構築に努めています。長野市災害ボランティア委員会では、今後も防災啓発など復興支援活動を継続。活動寄附金及び会員は随時募集中。ぜひ右記のウェブサイトからご連絡ください。

[INFORMATION]

長野市災害ボランティア委員会

長野市大字鶴賀緑町1714-5
 長野市ふれあい福祉センター
 長野市ボランティアセンター内
 E-mail:
 saibora.nagano@gmail.com



被災者の皆さまへ

住宅の再建などに係る各種制度、相談窓口のご案内(令和3年3月末現在)

住宅の再建などに向けて皆さまが利用できる主な支援制度と相談窓口を改めてまとめました。詳しくは、各問い合わせ先にご相談ください。

住宅の建設・購入・補修	資金に関する相談	①被災者生活再建支援金 住宅の再建方法に応じた支援金を支給	福祉政策課 TEL: 026-224-5028 ※詳細はページ下②
		②災害復興住宅融資 ※受付期限: 被災日から2年 住宅を再建するための建設・購入・補修資金に対する融資 ※ご高齢者の方向けに、「親子リレー返済」、「親孝行ローン」、「高齢者向け返済特例(リバースモーゲージ型融資)(次ページ紹介)」もあります。	住宅金融支援機構 お客さまコールセンター TEL: 0120-086-353
		③災害復興住宅資金への助成(融資への利子補給) 住宅を再建するための建設・購入・補修のための資金借入れに対し利子相当額の一部を補助 ※申請期限がありますのでご確認ください。	長野県建設部 建築住宅課 TEL: 026-235-7339
	住宅に関する相談	④住宅の一般的な相談 住宅復旧に向けた総合的な相談 ※次回相談会は4月開催(次ページ紹介)	長野県 建築相談連絡会 TEL: 026-235-0561
		⑤トラブルの解決に関する相談 リフォーム・修理で生じたトラブルの解決	(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター TEL: 0570-016-100
賃貸・公営住宅	民間賃貸住宅・施設	⑥被災者生活再建支援金 住宅の再建方法に応じた支援金を支給	福祉政策課 TEL: 026-224-5028 ※詳細はページ下②
	公営住宅	⑦市営住宅への入居 ⑧県営住宅への入居 住宅入居の申込・相談	市営住宅/住宅課 TEL: 026-224-7427 県営住宅/長野県建設部 建築住宅課公営住宅室 TEL: 026-235-7337
家屋の解体 ゴミの処分	⑨被災家屋の公費解体 ※申請受付期限: 令和3年5月28日 市が所有者に代わって被災家屋等を解体・撤去		公費解体対策室 TEL: 026-224-9727
	⑩災害廃棄物仮置場、災害廃棄物個別回収 災害ごみの受け入れ、災害ごみの個別回収		廃棄物対策課 TEL: 026-224-7320
日常生活の相談	⑪日常生活の相談 生活再建に必要なサービス等の相談・見守り対応		長野市生活支援・地域ささえあいセンター TEL: 026-219-5251

⑫被災者生活再建支援金

生活再建に向けた基礎支援金のほか、再建方法に応じた加算支援金を支給します。再建方法が決まりましたら加算支援金を申請してください。

	概要	再建方法	金額	備考
加算支援金	住宅が「全壊」、「大規模半壊」するなど被害を受けた世帯主が建物を再建する場合に支援金を加算支給します。	新たに住宅を建設・購入	200万円	大規模半壊のうち、やむを得ず解体の場合には全壊と同様の扱いとなります。
		住宅を補修	100万円	
		賃貸(民間)	50万円	

※基礎支援金(全壊:100万円、大規模半壊:50万円)をまだ申請していない方は忘れずに申請してください。
※単身世帯は、基礎支援金・加算支援金のいずれとも4分の3の額になります。

【申請期限】

加算支援金:
令和4年11月11日
基礎支援金:
令和3年11月11日

【お問い合わせ】

福祉政策課
TEL: 026-224-5028

■その他の支援制度

⑬被災代替家屋に係る固定資産税・都市計画税の減額特例

災害により滅失又は損壊した被災家屋の所有者が、これに代わる家屋(代替家屋)を令和6年3月31日までに新たに取得又は新築等した場合は、申告により税額が減額されます。
※申告期限がありますのでご確認ください。

資産税課
TEL: 026-224-7176

⑭雨水貯留施設災害復旧助成金

これまでに長野市の助成金を利用して設置した雨水貯留施設(雨水タンク)が滅失・破損した場合、再度設置に掛かる購入費用のうち最大で4分の3を助成します。【今年2月新設】

河川課
TEL: 026-224-7646

⑮各種証明書交付等手数料の減免

災害からの復旧・復興のために使用する各種証明書の発行手数料を減免します。

各種証明書の発行窓口
(例)住民票の写し
→市民窓口課

上記のほかにも、各種支援制度があります。詳しくは、長野市ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.city.nagano.nagano.jp/site/taifuudai19gou/>



長野市ホームページ

住宅と建築物に関する総合相談会を開催します

建築士や弁護士等の専門家が、住宅と建築物に関する具体的課題や問題に対して相談に応じると共に、公営住宅等に関する相談にも応じます。相談は無料、予約制(先着順)です。

日時・場所	4月10日(土)10:00~15:00 柳原交流センター(大学習室)
お申し込み方法	申込書に必要事項をご記入いただき、4月8日(木)までにお申し込みください。 ・郵送、ファクス、Eメールの場合:長野県建築相談連絡会へ ・窓口持参の場合:建築指導課(第2庁舎7階)へ ※コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送等による申込にご協力ください。
お申し込み・お問い合わせ先	長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会) TEL: 026-235-0561 〒380-0872長野市大字南長野字宮東426-1 FAX: 026-232-2588 e-mail: n-shikai@avis.ne.jp ※なお、申込書は建築指導課(第2庁舎7階)、豊野・柳原・長沼・篠ノ井・松代の各支所でお配りするほか、以下のホームページにご用意しています。 長野県建築相談連絡会: http://www.nagano-kenchikushikai.org/soudan/ 長野市: https://www.city.nagano.nagano.jp

〈住宅金融支援機構からのお知らせ〉

災害復興住宅融資(高齢者向け返済特例)について



～リバースモーゲージ型融資～

住宅に被害を受けた満60歳以上の方が、住宅の復旧(建設・購入・補修)に利用できる住宅ローンです。

- 毎月のお支払いは利息のみで、申込人(連帯債務者を含む)全員がお亡くなりになるまで支払います。
- 年金収入のみでも申込みが可能。通常の災害復興住宅融資と比べ月々の負担を低く抑えることができます。
- 借入金の元金は、申込人全員が亡くなられた時に、「融資住宅と土地の売却等」または「相続人による一括返済」のいずれかの方法でご返済いただきます。
- 受付期限は、り災日から2年です。

資料の請求、お問い合わせ等、お客さまコールセンターにお気軽にご相談ください。

※融資をご利用いただくためには、お申し込みする方、住宅などに条件があります。

お申し込みの条件を満たしていても、審査の結果、融資をお断りしたり、希望融資額を減額したりすることがありますのであらかじめご了承ください。

お客さまコールセンター(災害専用ダイヤル)

0120-086-353 [通話無料]

※ご利用いただけない場合(国際電話等)は、次の番号におかけください。
TEL: 048-615-0420 (通話料金がかかります。)
※営業時間: 9時~17時(祝日、年末年始を除き、土日も営業しています。)

11



もう一度、おいしいみそを作りたい

小川醸造場(長野市津野)

小川泰祐さん

長野市津野で明治時代から続くみそ蔵・小川醸造場は、令和元年東日本台風による千曲川の堤防決壊現場から100mほどの位置にあり、母屋・みそ蔵が2~3mの浸水被害に遭いました。麴、みそ、その他全ての機材を失った被災から1年半を経て、工場を再建し、新たな味噌の仕込みに着手した小川さんに、お話を伺いました。

どん底に届いた朗報

台風の3日後ぐらいにやっとここに来ることができ、変わり果てた姿に言葉を失いました。どこから片付けたいのかわからない状態でしたが、駆け付けてくれた友人知人やボランティアさんたちと一緒に、泥出しを始めました。来る日も来る日も泥出しと、災害ゴミの片付けに追われ、精神的にかなり減っていた10月末ごろ、全国味噌鑑評会の事務局から連絡が入りました。台風の1週間ほど前に出品していたみそが「農林水産大臣賞」を受賞したというのです。鑑評会には10年以上毎年出品していて、3度目の受賞でしたが、みそも麴も台風で全部流されてしまったし、「今はそれどころじゃない」と辞退しようか迷いましたが、その年長野県内では唯一の選出だったこともあり、周りからも薦められて賞をいただくことになりました。それを一つのきっかけとして、「もう一度みそを作りたい」という前向きな気持ちを持てるようになったと思います。



押し寄せた水の勢いで3分の2がつぶれ、残った部分も厚い泥で覆われた旧みそ蔵

再起へ向けて

表彰式の後、鑑評会に出品していて無事だった500gのみその中から蔵独自の菌を取り出し、培養して、前と同じようなみそを作れないだろうかと長野県工業技術総合センターに相談しました。みそ蔵再建の目処は全く立っていませんでしたが、センターで微生物の抽出にご協力いただけることになり、希望を持つことができました。大勢の方に支えられ、片付けが一段落すると、国や長野県のグループ補助金や小規模事業者持続化補助金申請など資金繰りのために奔走しました。2020年3月にはNPO法人 食育体験教室・コラボ、ながの協働ねっと、長野県工業技術総合センター、長野県味噌工業協同組合連合会の有志の方々が「キセキのみそ復活プロジェクト」を立ち上げ、大豆の選別機の資金をクラウドファンディングで募集してくださいました。おかげさまで全国から多くの温かい支援が集まり、予定よりも性能の良い選別機の購入に充てることができました。

「必ず来る幸せ」を信じて

2020年10月に新しい蔵の上棟式が行われるまでは、無我夢中の日々でした。振り返ると、災害後の混乱で残すべきだったものもほとんど

捨ててしまったことが悔やまれますが、再び、みその仕込みができることに感謝しています。“地産地消のみそを作りたい”との思いから、2006年から大豆の自家栽培を行っています。被災後も続けられるか不安でしたが、去年は長野市立長野中学校の70名の生徒さんたちとともに播種を行いました。7月の集中豪雨で畑が冠水し、大豆も浸水したことからダメになってしまうかと思いましたが、その後無事に成長し、収穫することができました。大豆の花言葉は「必ず来る幸せ」「可能性は無限大」だそうです。その言葉を信じて、まずは、麴づくりに励みます。そして、おいしいみそを作って、支えて下さった皆さんへの恩返しができると思います。



長野市立長野中学校の生徒と行った大豆「ナカセンナリ」の種まきとその花

小川醸造場

長野市津野672



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

【おわび】本紙第9号最終面に掲載した写真説明に誤りがありました。【誤】太田神社→【正】大田神社

Issue 10 令和3年4月 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課

電話:026-224-9728 e-mail:fukko@city.nagano.lg.jp

詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願います。URL:https://www.city.nagano.nagano.jp/

R70

古紙配合率70%以上の再生紙を使用しています